



花のまちづくり
**ガーデニング
 コンテスト
 2022**



花咲くまちに 笑顔咲く

花と緑のまちづくりは、人々に笑顔と活気をもたらしています。
 大切なことは無理せず楽しく続けること。
 市内各地で進む取り組みと市が目指す将来像を紹介します。

【問い合わせ先】都市整備課都市整備係 ☎0968(25)7242

たくさんの方に愛される憩いの場になればいいですね」と話すのは代表の松岡美紀さん（玉祥寺）。他の地区や高齢者施設、保育園などから多くの人が訪れています。昨年花壇をリニューアル。手押し車や椅子の人でも楽しめるように道幅を広くとり、通路をコンパクトにしました。

副代表の田嶋すま子さん（玉祥寺）も「花や緑を育てることで交流が広がり、玉祥寺が明るくなりました。皆さんに喜んでもらえるよう今後も頑張りたいです」と声を揃えます。

市内には他にも、熱心に花や緑を育てている人や団体がたくさんいます。取り組みが進む「はなまちづくり」は、各地で笑顔と活気をもたらしています。

「無理せずできる範囲でかまいません。住民の皆さんで花や緑を育てることで地区の活性化も進み、ひいては菊池を訪れる人たちに癒やしの空間を与えることができると思っています」と続けます。

令和3年6月に包括連携協定を結んだ(株)九州野菜育苗センターからは、市の取り組みに共感して定期的に花苗の寄贈が行われることになりました。他にも県の事業を活用して毎年6月頃と12月頃に、地域のボランティア団体などが地域の共有地などに花を植える際、花の種子や球根、苗などの支給を行っています。

地区に活用できる場所があれば、そこに緑を、花を植えてみませんか。花と緑の美しいまちづくりはこれからも続きます。



玉祥寺花明かり会(左から)
 田嶋すま子さん、松岡美紀さん
 (玉祥寺)

花のまちづくり ガーデニングコンテスト 2022 作品募集

- 募集期間** 6月30日(木)まで
 ※提出日から過去1年以内に撮影した写真に限ります
- 対象・部門** 市内の個人、団体を対象募集します。
- ① **個人部門** 個人宅の玄関・道路沿いの壁・生垣・庭、窓などの花壇や植栽
 - ② **団体部門** グループや団体、企業や商店などの数人で手入れをしている花壇や植栽
 - ③ **寄せ植え部門** 個人・企業問わず、一人で持ち運べる程度の大きさ・重さの鉢植え。
 ※年間を通じて、花づくりを行っていること
 - ④ **ウェルカムフラワー部門** 室内に飾っている花瓶などに活けた花で、応募者が製作したもの

- 応募方法** 下記の①と②の写真を提出してください。
- ① 作品の全体が分かるもの 1枚
 【個人・団体部門】はがきサイズ
 【寄せ植え部門・ウェルカムフラワー部門】六つ切
 - ② こだわりの部分 L判サイズ2枚 ※個人・団体のみ
- 【郵送の場合】写真をエントリーシートと一緒に郵送
 【持ち込みの場合】写真、または写真のデータが入っているデジタルカメラやスマートフォンを持参
- 応募サイトからも応募できます!
<https://logoform.jp/form/fJeH/63918>
- 申し込み先** 都市整備課都市整備係
 〒861-1392 菊池市隈府888番地 ☎0968(25)7242

エントリーシート

ふりがな
氏名 _____

住所 _____

電話番号 _____ 部門 _____

作品住所 _____

【作品に使用している草花】 _____ 【作品のテーマ】 _____
 ※メインを3種類程度

- 審査方法・表彰**
- 応募写真を市役所に展示し、写真展を開催します。写真展の来場者と専門の人による投票で賞を決定し、受賞者には個別に連絡します。結果は市のホームページにも掲載します。
- 金賞 市内共通商品券 10,000円分(①②から1点ずつ)
 - 銀賞 市内共通商品券 5,000円分(①②から1点ずつ)
 - 優秀賞 市内共通商品券 3,000円分(③から3点、④から2点)
 - 特別賞 市内共通商品券 5,000円分(全部門から受賞作品を除いた1点)

※記入後、切り取って提出してください。
 ※メールでの応募はエントリーシートと同じ内容を本文に明記してください。

平成28年から始まった「ガーデニングコンテスト」市では、市民と一緒に花や緑を育てることで、まち全体が身近な庭のように彩りや優しさにあふれた、美しい景観のまちづくり「はなまちづくり」を推進しています。取り組みの一環として行っているのが、花や花壇づくりを行っている個人やグループを表彰する「ガーデニングコンテスト」。平成28年から開催しており、これまでに延べ158組が応募しています。「いろんな形で花を育てる機会を作ってほしいですね」と話すのはコンテストの審査員も務める宮村明花園の檜枝未歩さん(片角)。花は見る人に癒やしを与えてくれるといえます。「見たり、触ったり、香りを嗅いだりすることで豊かな感性を育むこともできます。できる範囲で気軽に取り組んでほしいです」と笑顔を見せました。

「はなまちづくり」で広がる交流
 花や緑は人々の交流にもつながっています。第1回コンテストから参加している田中康男さん。

人に愛される憩いの場
 玉祥寺区で平成29年に発足した「玉祥寺花明かり会」では「無理せず楽しく！」をモットーに現在7人で活動を続けています。「おしゃべりしながら楽しく作業するのは区の皆さんの協力のおかげ。」

愛子さん夫妻(旭志出身)は「花を通して人との交流が広がりました。たくさんの人と共に楽しみたいです」と話します。

もともと花が好きだった二人ですが、コンテストをきっかけに訪れる人が増え、友人の輪が広がったといえます。「除草や剪定など手間はかかりますが、子どもを育てているようなものと感じています。興味がある人と一緒に花を育てたい。仲間を増やしていきたいですね」



田中康男さん
 (旭志出身)